

発行所
大工業大学
報 課
埼玉県南埼玉郡
町学園台4-1
80(34)4-1-1

発行所
日本工業大学
広報課
〒345 埼玉県南埼玉郡
宮代町学園台 4-1
☎ 0480(34) 4111

卒業 特集

研鑽と力の集い

同窓会に積極的に参加を

日本工業大学同窓会会長 高橋 康一



二日のおめでたい「学位記旧卒業証書 授与式」にあたり、同窓生一万四千数百余名を代表たしまして皆さんにご祝辞を申し上げますことは、私の最大の喜びとするところでございます。

中学校・高等学校卒業の諸君の方が、経験的実力が豊富である場合、皆さんは彼らの

考へ、専門的知識、あるいは豊かな教養等を総的に発揮しつつ、指導の立場に立つて全体を判断し得る能力は、皆さんに期待するところ大なるものがありますから、その分野において大に長力を発揮して欲しいと思います。同

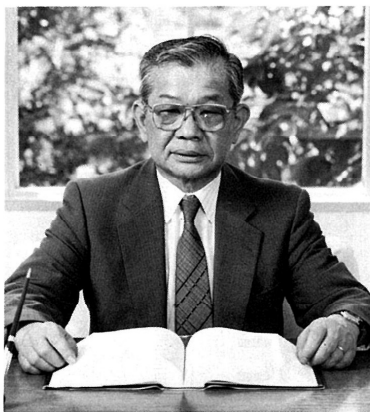
「然」は心がさっぱりとして、名利にこだわらないさま。「泰然」は物事に動じないさま、だそうです。

皆さんが身に付けられたた知識や技術に愛情をたして

本日、栄えある皆さんの学位授与式に際しまして、今後のご活躍をご健康をお祈りするとともに、心からの祝辞を捧げます。

卒業生に贈る
技術を通じて世界に貢献を

學長 大川陽康



しか、戦争が終わってつれば、そこに残された世界のあまりの大きさに、世界は改めて困惑の表情を隠さなかった。民族問題、難民問題が問われ、もう一方で先進諸国の経済構造が問われたのであった。中でも、湾岸諸国に原油の供給を頼りざるを得ない日本の経済・産業のありかたは、徐々には石油依存率を減らしていくにはいへとも問題となった。

また一方で、湾岸戦争は、呼ばれる二酸化炭素と亜酸化窒素などの世界規模の排出規制の開始時期と重なり、境われ日本人は、今回、環境問題についての再認識をせまられたのであった。

そして、湾岸戦争が残したもうひとつの教訓は、南北問題、日本を含めた北側先進諸国と日本をめぐっての対立の深刻さである。中東諸国を初めとして世界の多くの発展途上国を置きざりにしたものでなかったかという反省であった。

表いたしまして皆さんに祝辞を甲上上げますことは私の最上喜びとするところでございます。

コーナを曲がつて異質局面に出了しまったのである。そして、世界がこれからどうなるかは、残念ながらも未定知であると言わざるを得ない。

諸君は本日ここにめでたく卒業おめでとうを向かえた。そして、ほとんどの諸君に朗

るものとは限りません。

中学校・高等学校卒業の諸君の方が、経験の実力が豊富である場合、皆さんは彼らの

平成四年 一般入学

平成四年度一般入学試験が本学を会場に一月十二日

皆さんに期待するところ大に
あるものがありますから、そ
分野において大いに実力を
揮って欲しいと思います。」

な
の
飛
同

の歯車一つ、建築の梁一つ、電気電子の抵抗一つが欠けてもその各々が働きません。皆さんのこれからは、図面も自

こなわれる

ち二六八人が受験した。
両日とも試験は本学の選抜

受験者数	合 計	合格者数	合 計
803 (内女 7)		134 (内女 4)	
41 (内女 0)	849 (内女 8)	8 (内女 0)	147 (内女 5)
5 (内女 1)		5 (内女 1)	
462 (内女 8)		64 (内女 2)	
54	524 (内女 9)	11	79 (内女 3)
8		4	

(内女 1)	(内女 1)		
695 (内女46)	63 (内女 7)		
42 (内女 3)	746 (内女50)	76 (内女 9)	
9 (内女 1)	6 (内女 1)		
463 (内女14)	62 (内女 5)		
67 (内女 1)	539 (内女15)	84 (内女 5)	
9 (内女 1)	5 (内女 0)		
	2,658 (内女82)	386 (内女??)	

諸君、工学部卒業ならびに大学院修了おめでとう。本日、学部において八十一名が学士の学位を、また大学院修士課程において四十名が修士の学位を得た。学士の学位に聞いて学部の諸君は奇妙に感じるかもしれないが、昨年七月の研究を進めていたもので、その努力がここに大きく実ったものである。呂君の学位取得は、昭和十八年以来の本学と華理大学との学術交流の大きな成果であると言っても良であらう。みなさんと共に喜びたいと思う。

パクトを与えた。とりわけ、テレビ画面に映しだされた三島たちの原油にまみれた姿や、燃え続ける多くの油井は、改めて環境汚染について考えるきっかけを日本人に与えることとなったのである。

海軍と海兵隊は、北朝鮮の核開発に際しては、北朝鮮の領土に侵入することはない。また、北朝鮮の領土に侵入することはない。また、北朝鮮の領土に侵入することはない。

社会に巣立っていくわけである。しかし、諸君が第一線で活躍する場合は、いままで述べてきたように多くの未解決な問題を抱えているのが現状である。諸君は将来指導的な技術者となつて、技術立国日本の一翼を担ふことになるだろう。

た。試験は第一目の十二日

英語・数学・物理によるA方式と、英語・数学・志望学科の専門科目によるB方式の二方式によって行われた。加えて昨年度より、B方式の数学とシステム工学科専門科目についてはさらに細分化され、二日間を合わせた総数で一八

受験方式	志願者数	合 計	受験
A方式	886 (内女 8)	935 (内女10)	A方式
B方式	44 (内女 1)		B方式
留学生	5 (内女 1)		留学生
A方式	517 (内女 9)	580 (内女10)	A方式
B方式	55		B方式
留学生	8		留学生

留學生	(内女 1)		留學生
A方式	772 (内女51)	828 (内女57)	A方式
B方式	47 (内女 5)		B方式
留學生	9 (内女 1)		留學生
A方式	539 (内女15)	621 (内女16)	A方式
B方式	73		B方式
留學生	9 (内女 1)		留學生
		2,964 (内女93)	

けられ、本学卒業生として諸君からは卒業証書ではなく、修士課程の諸同様に、学位記が授けられ、このときとなつた。また、博士課程（後期）からは、昨年に引続き、機械工学専攻より課程による博士第二号が、呂君に授けられることとなつた。呂君は、本学と華理工大との間の「學術交流」に関する取組に基き、塑性加工研究室で平成元年より翌年十二月間を振返つてみる。この十二月の連邦崩壊へと至る過程を除けば、最大の出来事はやはり湾岸戦争であらう。とりわけ一月は戦争の緊迫が最も高まり、一月十七日の多国箱館軍による、砂漠のあらし作戦開始から、イラク側による停戦提案を受け、までの四十日余りにわたって、世界の眼は湾岸地域に注がれた。あつた。

現状問題の年であるといわれ、歴史上に見ると、環境問題も今までに多くの公害問題を引き起こしながらも、なお全全として見れば経済活動に伴必要悪であり、無視出来るほどのものと考えられてきた。しかし、ここ数年日本においても「地球やさしい」経済社会の標榜のように、節度ある経済活動が求められるようになった。地球温暖化の原因である温室効果ガス

評論の中で、経済協力と援助とは日本を考へるべき援助と貢献とは何かを考へるべきを得なかつた一年であつた。

さて、昨午を概観してみると、私にはやはり一昨午同様、未曽有の一年であつたといふ印象が甚だ強い。こうした中で私は、日本のエンジニニアの必要を予へなきのかを考へる、経済発展を追求する従来の考へ方は、もう大きく最終

「その問題、諸君に本気で学んだことを生かして、世界的視野に立った技術者として活躍してほしいと願うものであります。環境問題といい、発展途上国への技術供与といい、技術から生じた問題は、技術の力でしか解決できないことは、中での理である。そして、この自明の理である。そして、こうした問題を解決していくためには、諸君の敏知が必要である。諸君の健闘を祈る。」

神奈川大学とかながわ県

今年は、一八才人口が二〇五万人余りと戦後二度目のピークを向かへる年にあたり、本学への志願者増加が予想されたが、結果は下表に見られるように昨年に比べ三〇〇人余りの増加となった。

各科別の志願者動向を見ると、機械工学科は昨年と同数

募集	科	学
40	機械工学科	
40	電気電子工学科	

[illegible]

平成四年度

一般入学試験おこなわれる

平成四年度一般入學試験が、本學を会場に二月十二日、十三日の両日にわたり行われた。試験は第一目の十二日に機械工学科と電気電子工学科が、十三日には建築学科とシステム工学科が筆答を行った。二九六四人の志願者のうち

ち二六五八人が受験した。

両日とも試験は本学の選抜方式の特徴ともなっている、英語・数学・物理によるA方

受験方式	受験者数
A方式	803 (内女 71)
B方式	41 (内女 40)
留学生	5 (内女 1)
A方式	462 (内女 8)
B方式	54
留学生	8

留学生	(内女 1)
A方式	695 (内女46)
B方式	42 (内女 3)
留学生	9 (内女 1)
A方式	463 (内女14)
B方式	67
留学生	9 (内女 1)



試験会場へとむかう受験生

なわれる									
ち二六五八人が受験した。									
両日とも試験は本学の選抜方式の特徴となっている、英語・数学・物理によるA方式と、英語・数学・志望学科の専門科目によるB方式の二方式によって行われた。加えて昨年度より、B方式の数学とシステム工学科専門科目についてはさらに細分化され、二日間を合わせた総数で一八種の試験問題の中から、受験生は自分に適した試験科目で受験できるよう配慮がなされた。									
今年は、一八才人口が二〇五万人余りと戦後二度目のピークを向かえる年にあたり、本学の志願者増加が予想されたが、結果は下表に見られるように昨年に比べ三〇〇人余りの増大となった。									
と、機械工学科は昨年と同数で、志願者数は昨年より一割増となった。									
各学科とも志願者は増加傾向にあり、昨年同様、女子と男子の志願者の増加が目立った。特に、留學生の合格者が二〇名を数え、国際化の波が押しよせていることが実感される。									
学 科	募集人員	受験方式	志願者数	合 計	受験方式	受験者数	合 計	合格者数	合 計
機械工学科	40名	A方式	886 (内女 7)	935 (内女 10)	A方式	803 (内女 7)	849 (内女 8)	134 (内女 4)	147 (内女 5)
		B方式	44 (内女 1)		B方式	41 (内女 0)		0 (内女 0)	
		留學生	5 (内女 1)		留學生	5 (内女 1)		5 (内女 1)	
電 気 電 子 工 学 科	40名	A方式	517 (内女 9)	580 (内女 10)	A方式	462 (内女 8)	524 (内女 9)	64 (内女 2)	79 (内女 3)
		B方式	55 (内女 1)		B方式	54 (内女 1)		11 (内女 1)	
		留學生	8 (内女 1)		留學生	8 (内女 1)		4 (内女 1)	
建 築 学 科	40名	A方式	772 (内女 31)	828 (内女 57)	A方式	695 (内女 46)	746 (内女 50)	63 (内女 2)	76 (内女 9)
		B方式	41 (内女 5)		B方式	42 (内女 3)		7 (内女 1)	
		留學生	5 (内女 1)		留學生	9 (内女 1)		0 (内女 1)	
シ ス テ ム 工 学 科	40名	A方式	539 (内女 15)	621 (内女 16)	A方式	463 (内女 14)	539 (内女 15)	62 (内女 5)	84 (内女 5)
		B方式	73 (内女 1)		B方式	67 (内女 1)		17 (内女 0)	
		留學生	9 (内女 1)		留學生	9 (内女 1)		5 (内女 0)	
合 計	160名		2,964 (内女 93)			2,658 (内女 82)		386 (内女 8)	

卒業研究(計画)一覧

機械工学科

玉木 保・梅崎栄作研究室
(応用力学)

村川正夫研究室 (塑性加工)

長田重慶・伏見恒夫研究室
(機械加工)

酒井茂紀・宮沢 肇研究室
(特殊加工)

柳沢 章研究室 (成形加工)

鈴木 昭研究室 (設計工学Ⅰ)

渡辺 寛・窪田英毅研究室
(設計工学Ⅱ)

漆原富士夫・佐藤茂夫研究室
(金属材料)

有賀幸則研究室 (機械要素)

池田義雄・小倉 勝研究室
(熱工学)

町山忠弘・寺島幸雄研究室
(制御工学)

松本正勝・横谷真一郎・渡辺高
幸研究室 (流体工学)

松田郁夫・丹羽次郎研究室
(情報工学・システム工学)

電気電子工学科

宮地邦夫・大久保勝弘・青木
収研究室 (電気機器)

岩瀬 勝・森 正美研究室
(電気鉄道・電力応用)

原田達哉・佐伯正盛研究室
(高電圧・放電現象)

堀口光敏研究室 (電動力応用)

中道一郎・石川 豊研究室 （電気材料・半導体プロセス）		堀田勝喜研究室（電気材料）		八田 達・日下部岱研究室 （電子技術）		高橋篤夫研究室 （材料部品・計測・制御）		山口義昭研究室 （光通信・光電磁界論）		山口昌之研究室 （建築意匠・計画・設計）		渡辺勝彦研究室 （建築史・建築設計）		波多野純研究室 （都市史・建築設計）	
広瀬洋一研究室（電子物性）		高橋明遠研究室 （通信工学・光応用）		高橋修吉研究室 （建築計画・意匠）		北後 寿研究室 （耐震構造工学・構造計画）		片山茂友研究室（マイクロコンピュータ応用・教育工学）		渡部 徹研究室（生体情報処理）		泰野愈士研究室 （マイクロコンピュータ応用）		榎井武 研究室 （環境工学・都市設備・病院建築）	
廣瀬治男研究室 （電子通信工学・物性）		谷澤 茂研究室 （超音波・計測・電子回路）		宮坂修吉研究室 （建築計画・意匠）		北後 寿研究室 （耐震構造工学・構造計画）		片山茂友研究室（マイクロコンピュータ応用・教育工学）		渡部 徹研究室（生体情報処理）		泰野愈士研究室 （マイクロコンピュータ応用）		榎井武 研究室 （環境工学・都市設備・病院建築）	
石田之則・高橋明遠研究室 （通信工学・光応用）		高橋恒研究室（地域計画）		小林啓美研究室（地震工学）		村口昌之研究室 （建築意匠・計画・設計）		高橋久雄研究室（材料・構造）		渡辺勝彦研究室 （建築史・建築設計）		榎井武 研究室 （環境工学・都市設備・病院建築）		波多野純研究室 （都市史・建築設計）	
小年真一郎研究室（環境工学）		伊藤席一研究室 （集落計画・建築設計）		桑原文大研究室（地盤工学）		難波恒夫研究室（建築構造）		高橋恒研究室（地域計画）		渡辺勝彦研究室 （建築史・建築設計）		榎井武 研究室 （環境工学・都市設備・病院建築）		波多野純研究室 （都市史・建築設計）	

岩隈利輝研究室 (建築計画・農村計画)		高橋雅充研究室 (建築構造)	
西山光昭研究室 (材料・構造)		川村清志研究室 (建築材料・構法)	
大岸文夫研究室 (建築計画・建築設計)		福田成二研究室 (都市計画・地域計画)	
貴井光男研究室 (建築材料・腐食工学・海洋工学)		加村隆研究室(耐震構造工学)	
石川博章研究室 (省エネルギーシステム)		長谷川汎研究室(制御工学)	
野口卓也研究室 (電気磁気学・品質管理)		檀田昇研究室(光電物性)	
鈴木敏正研究室 (マイクロエレクトロニクス)		飯倉道雄研究室(情報技術)	
鈴木清研究室 (先端素材加工学)		中村洋一研究室(画像素子材料)	
三宅正二郎研究室(表面工学)		近藤通朗研究室(情報数理学)	
竹内淳彦研究室(工業地理学)		清島達郎研究室 (原子・分子物理学)	
鈴木康之研究室(化学工学)		塚林功研究室(フラスマ)	
正道寺勉研究室(数理計画)			

システム工学科

卒業生名簿

平成3年度

3月20日付
確定者

機械工学科

電
気
電
子
工
学
科

建
築
学
科

シ
ス
テ
ム
工
学
科

大学創立25周年記念事業 のご案内

～日本工業大学同窓会主催～



第4回定期総会に集まった同窓生

同窓会では、大学創立二十五周年を記念して、祝賀会、ゴルフコンペ、名称変更という三つの記念事業を計画しています。各事業とも盛大に行いたいと考えておりますので、奮ってご参加戴きますようご案内申し上げます。

【記念祝賀会】

大学教職員および関係者の方々、在校生、卒業生を交えて、大学創立二十五周年をお祝いしたいと思います。左記の要領にて祝賀会を開催いたしますので、一人でも多くのご参加をお願いいたします。

日時 平成四年十一月一日(日)
午後四時～六時
場所 日本工業大学 体育館
会費 五千円(前売り)
御申し込みは同窓会事務局で承っております。

【ゴルフコンペ】
ゴルフ人口の急激な増加に伴い、同窓会でもゴルフコンペを六月二十七日に開催いたします。しかし、この件につきましては参加希望者多数のため、申し込みを既に締め切らせて戴いております。次回開催を乞うご期待ください。

【名称変更事業】
皆様も良くご存じのように、それぞれの大学の同窓会には「〇〇大学同窓会」ではなく独自の名称が付けられています。大学が創立されて四半世紀を迎え、内外共に新世代が活躍を始めたこの時期に同窓会も新しい名称に変更することとなりました。去る一月三十一日に新名称案の募集を締め切り、現在、同窓会の執行部では選考段階に入っています。十一月一日の記念祝賀会にて新名称を御披露する予定です。

■問い合わせ先

日本工業大学
学生課内
同窓会事務局
☎〇四八〇(三四)四一一



故窪田宗英前理事長の 胸像除幕

胸像除幕

昨年二月二十六日急逝された前理事長窪田宗英先生の胸像除幕式が、二月二十七日正門近くの本学構内除幕式会場で行われた。

当日は、現理事長で大学長の大川陽康先生をはじめとした学園関係者、窪田家代表の窪田宗林氏および縁に繋がる方々、友人代表として本学機械工学科前教授小高寿夫先生など約五十名が参列した。胸像は、出席者全員が見守るなか、窪田宗林氏および前理事長にとっては孫にあたる窪田宗明氏の手によって除幕された。

挨拶のなかで大川理事長は、先生が亡くなられてから



窪田先生胸像

早一年の月日が流れ、一周忌の法要がとこおりに営まれた旨の報告の後、改めて生前の本学および本邦工業教育に果たした窪田先生の遺徳に触れながら、先生の学園に注がれた情熱と理想を継承してゆくとの決意を述べた。



窪田宗林・宗明氏による除幕

平成三年辛未二月二十六日 第三代法人理事長 玉堂窪田宗英先生平然トシテ去ル 我学園ノ今ニ在スルハ先生ニ負フ所是ニ深シ 先生八十有ニ歳ノ一世ニ於テ学園ニ在ルコト五十有ニ年 自ラノ工業教育ノ理念ヲ堅持シ専心一意以テ我事トナシテソノ誠ヲ盡シ 毀譽褒貶ハ我事ニ非ズトシテソノ信ヲ貫ク 惟フニ先生夙ニ揮ヲ修シタル所以ト云ハシ 事ニ處スルニ深慮ニシテ簡スレバ變ジ決スレバ惑ハズ 昭和敗戦後ノ学園再興ヲ遂ゲ昭和四十二年学園仲展ノタメ大學設立ノ大業ヲ果ス 先生平生酒ヲ愛シ會スレバ上下ノ隔テナク談笑ス 先生ヲ知ル人皆ソノ大人ノ風格ヲ敬慕セリ 今ニ念フ後業ノ継承スベキ遺緒ハ何如ト 茲ニ誌シテ先生ノ尚永世ニ我学園ノ就クベキ道ニ導カレシトヲ冀フ

平成四年壬申仲春

碑文

課程博士第2号

君に授与

本学大学院工学研究科博士課程(後期)機械工学専攻の君より提出されていた学位請求論文「せん断加工における精度向上に関する基礎的研究」に対し、二月二十日の研究科委員会で票決の結果合格と判定されたので、同君に本学第一号の工学博士の学位が授与された。

これによって、本学大学院工学研究科からは、昨年の建築学専攻 君に引続いての工学博士誕生となった。君の学位申請論文の審査は、専攻会議における予備審査段階を経て、さる一月十六日に公聴会および審査委員会が開催された。

「せん断加工における精度向上に関する基礎的研究」は、序論と総括を除いて三章八節から構成されており、村川正夫教授を主査とした審査報告は本研究について、「各種素材のせん断加工で問題となっている精度を支配すると考えられる諸加工因子についての基礎調査実験を行

い、その結果について考察を学位論文として十分な価値があるものと認められる。」としている。

☆
☆
☆

平成3年度 大学院工学研究科 博士課程(後期)から課程博士一名 修士課程修了は四十名

大学院工学研究科は三月二十日修了式をむかえるが、第九期にあたる本年度修了生は四十名で、機械工学専攻十名・電気工学専攻二十四名・建築学専攻六名である。また、本年度は昨年に続いて博士課程(後期)より課程博士第二号が、華中理工大学よりの客員研究員 君に授与され、修士修了者同様三月二十日に学位授与式が行われる。君は一九八八年に本学に着任、一年間研究に従事した後、本学博士課程(後期)に入学したものである。今後の活躍が期待される。

今回の四〇名を加え本学修士課程は二二六名の修了生を産業界・教育界を中心とした各界に送り出したこととなる。

機械工学専攻

電気工学専攻

工 学 部

【鋳業】 同和鋳業(株) 【建設工業】 浅沼組 エス・パイ・エル 大林組 鹿島建設(株) 根建設(株) 三晃金属工業(株) 清水建設(株) 住友林業(株) 駿 河建設(株) 積水ハウス(株) 積 水ハウス木造(株) 大木建設(株) 大成建設(株) 大成レハブ(株) 大和ハウス工業(株) 多田建設 (株) 辰村組 鉄建建設(株) 戸 東海興業(株) 東洋建設(株) 日 建建設(株) 日建建設(株) 日 田組(株) フジタ 真柄建設(株) (株) 松村組 名工建設(株) 森	組 矢作建設工業(株) 細田 工務店 【設備工業】 関電工(株) 大気社 ダイダ ン(株) 高砂熱学工業(株) 東 京電気工務所 日北総合設 備(株) ユテック 【製造業】 オミケン(株) 鐘紡(株) 凸 版印刷(株) 三興製紙(株) 日本 テトラパック(株) リンテック (株) 東京鉄鋼(株) トビー工業 (株) 日本金属(株) 日本ステン レス(株) 第一電工(株) 東京特 殊電線(株) 日立電線(株) 藤倉 電線(株) 北海製鋼(株) 北沢産 業(株) 黒田精工(株) サンウエ ー工業(株) 鈴木シャッター工 業(株) 立川ブラインド工業(株) (株) 山アルミニウム工業(株)	前澤給装工業(株) 旭ダイヤモンド 工業(株) SMC(株) エン シュウ(株) 大阪ダイモント 工業(株) 加藤製作所 グロ ーリー工業(株) 光洋精工(株) コピア(株) 小森コーポレー ション 酒井重工業(株) 佐 クセル(株) ソディック T H K(株) 日本精工(株) 日本タイ プライター(株) 日立精機(株) 日立ツール(株) ホソカワミク ロン(株) 牧野フライス製作 所 ミネベア(株) リコーエレ ックス(株) アイコム(株) 安 アドバンテスト 安藤電気(株) S M K(株) 大崎電気工業(株) クラリオン(株) ケンウッド 澤藤電機(株) サンケン電気(株) 三洋電機(株) 山洋電気(株) 田理化学工業(株) 新川 スタ	シレー電気(株) ソニー(株) ソ ニーケミカル(株) ソニー・ ミュージックエンタテイン メント(株) 大真空(株) 高岳製作所 田淵電機(株) 多摩電気工業(株) ティアック(株) TDK(株) 東 亜電波工業(株) 東京エレクト ロン(株) 東光電気(株) 日本シ イエムケイ(株) 日本電気精器 (株) 日本アンテナ(株) 能美防 災(株) 日立工機(株) 日立電子 (株) ヒロセ電機(株) 富士電機 (株) 双葉電子工業(株) ホーチ キ(株) 松下電器産業(株) 明 電舎 八木アンテナ(株) オ バル機器工業(株) オリパス 光学工業(株) コパル 愛知 車輛(株) 曙ブレーキ工業(株) 市光工業(株) 関カンセイ 桐 生機械(株) 京浜精機製作所 (株) 熊谷組 東急建機
--	--	---	--

建築学専攻

【建設工業】 (株) 熊谷組 東急建機	【通信・報道業】 日本電信電話(株) 【電力・ガス・水道業】 東京ガス(株) 東京電力(株) 【情報産業】 東京ガス(株) 東京電力(株) 【その他のサービス業】 月島機械(株) 東芝プラント建 設(株) 東洋製作所 日立造 船エンジニアリング(株) 日立 プラント建設(株) メイテック	【その他】 公務員・公立学校教員
------------------------	--	---------------------

授業開始は四月十日

新学期の日程

在 学 生

健康診断

(体育館)

- ◆2年次生 4月1日
- ◆3年次生 3月31日
- ◆4年次生 3月30日

*健康診断は、午前9時から正午まで。
*留年生は自分が該当する学年と一しよに健康診断を受ける。

学生証の交付

(二二二教室)

【製造業】

- (株) 昭和製作所 住友電装(株) ダイハツ工業(株) 栃本富士産業(株) 日産ディーゼル工業(株) 日本精機(株) 日野車体工業(株) 三ツ葉電機製作所(株) ザワ フランスベッ(株) キヤノン販売(株) 椿本興業(株) デニスジャパン
- 【通信・報道業】
日本電信電話(株)
- 【電力・ガス・水道業】
東京ガス(株) 東京電力(株)
- 【情報産業】
東京ガス(株) 東京電力(株)
- 【その他のサービス業】
月島機械(株) 東芝プラント建設(株) 東洋製作所 日立造船エンジニアリング(株) 日立プラント建設(株) メイテック
- 【その他】
公務員・公立学校教員

新 入 生

健康診断

(体育館)

- ◆2年次生 4月1日
- ◆3年次生 3月31日
- ◆4年次生 3月30日

*健康診断は、午前9時から正午まで。
*留年生は自分が該当する学年と一しよに健康診断を受ける。

学生証の交付

(二二二教室)

【製造業】

- (株) 昭和製作所 住友電装(株) ダイハツ工業(株) 栃本富士産業(株) 日産ディーゼル工業(株) 日本精機(株) 日野車体工業(株) 三ツ葉電機製作所(株) ザワ フランスベッ(株) キヤノン販売(株) 椿本興業(株) デニスジャパン
- 【通信・報道業】
日本電信電話(株)
- 【電力・ガス・水道業】
東京ガス(株) 東京電力(株)
- 【情報産業】
東京ガス(株) 東京電力(株)
- 【その他のサービス業】
月島機械(株) 東芝プラント建設(株) 東洋製作所 日立造船エンジニアリング(株) 日立プラント建設(株) メイテック
- 【その他】
公務員・公立学校教員

在 学 生

健康診断

(体育館)

- ◆2年次生 4月1日
- ◆3年次生 3月31日
- ◆4年次生 3月30日

*健康診断は、午前9時から正午まで。
*留年生は自分が該当する学年と一しよに健康診断を受ける。

学生証の交付

(二二二教室)

【製造業】

- (株) 昭和製作所 住友電装(株) ダイハツ工業(株) 栃本富士産業(株) 日産ディーゼル工業(株) 日本精機(株) 日野車体工業(株) 三ツ葉電機製作所(株) ザワ フランスベッ(株) キヤノン販売(株) 椿本興業(株) デニスジャパン
- 【通信・報道業】
日本電信電話(株)
- 【電力・ガス・水道業】
東京ガス(株) 東京電力(株)
- 【情報産業】
東京ガス(株) 東京電力(株)
- 【その他のサービス業】
月島機械(株) 東芝プラント建設(株) 東洋製作所 日立造船エンジニアリング(株) 日立プラント建設(株) メイテック
- 【その他】
公務員・公立学校教員

在 学 生

健康診断

(体育館)

- ◆2年次生 4月1日
- ◆3年次生 3月31日
- ◆4年次生 3月30日

*健康診断は、午前9時から正午まで。
*留年生は自分が該当する学年と一しよに健康診断を受ける。

学生証の交付

(二二二教室)

【製造業】

- (株) 昭和製作所 住友電装(株) ダイハツ工業(株) 栃本富士産業(株) 日産ディーゼル工業(株) 日本精機(株) 日野車体工業(株) 三ツ葉電機製作所(株) ザワ フランスベッ(株) キヤノン販売(株) 椿本興業(株) デニスジャパン
- 【通信・報道業】
日本電信電話(株)
- 【電力・ガス・水道業】
東京ガス(株) 東京電力(株)
- 【情報産業】
東京ガス(株) 東京電力(株)
- 【その他のサービス業】
月島機械(株) 東芝プラント建設(株) 東洋製作所 日立造船エンジニアリング(株) 日立プラント建設(株) メイテック
- 【その他】
公務員・公立学校教員